

自 - 自信を持って 自分から 自立 -



～卒業式の日取りが決まりました～

卒業式の日取りが正式に決定いたしました。

なお、詳細は3学期に改めてお知らせします。

令和五年度 川北中学校 卒業証書授与式
3月9日(土) 9:30開式 講堂にて



みなさんの卒業まで約3ヶ月。川中生として過ごす日々も残り少なくなりました。

思い描いた学校生活を送れていますか。後輩にのこしたいものはありますか。

やれたこと。やり残したこと。一日一日を大切に過ごしたいですね。

～12月集金～

12月の引き落としは11日(月)です。
口座の確認をお願いいたします。



3年	12月
学年会計	5,000
合計	5,000

今号の言葉

「世界には、君以外には誰も歩むことのできない唯一の道がある。

その道はどこに行き着くのか、と問うてはならない。ひたすら進め。」ニーチェ (ドイツの思想家)

～人権講演会「ハンナのかばんー悲しみを希望にかえてー」～

11月22日（水）、NPO 法人ホロコースト教育資料センター理事長、石岡史子さんによる 人権講演会がありました。

石岡さんは、「負の世界遺産」ドイツのアウシュビッツ強制収容所（現在では博物館）から展示品を受け取ります。

それは、殺されたユダヤ人が遺したたくさんのかばんのひとつでした。そのかばんの持ち主は、13歳の少女ハンナ・ブレイディ。

「ハンナって、どんな子だったんだろう。どんなふう生きて、何を感じていたんだろう。」

そのとき、石岡さんの調査が始まったのです ——。



<生徒感想より>

石岡さんの話を聞いて、虐殺とはとても恐ろしいものだわかりました。石岡さんの話には妹と兄の二人のきょうだいが出てきました。両親と離れ離れになり、自分たちがこれからどのようなようになるのかもわからない中で、妹に励ましの言葉をかけてあげられる兄がとてもすごいと思いました。

戦争や虐殺は、自分とはかけはなれた関係のないこととは思わず、自分にできることを考えて過ごしていきたいです。

北井 志真さん

（ユダヤ人への虐待は）今考えるとおかしいことなのに、その当時だと当たり前のことになっているところから、洗脳の恐ろしさが伝わりました。「人種」や「出身」という大きなくくりで人をくくらないようにしたいです。

新谷 一さん



ユダヤ人がたどった道について詳しく知ることができました。アンネ・フランクさんが有名で そのことしか知らなかったけど、ハンナさんのこともわかりました。どれだけのつらい思いをしていたか 私達にはわからないこともあるけど、一つの発言だけを信じることなく生きていきたいと ^{なにじん} 思います。何人というくくりをせず、一人の人間として見ていきたいです。私は戦争をしたくない。

北嶋 千尋さん

今まさにウクライナでの戦争が起こっていたり、核を持っている国があったりするし、アンネさんやハンナさんみたいに戦争で犠牲になっている人がいると考えるとだけで心が重くなります。核じゃなくて、自分たちでコミュニケーションを取って解決したいです。

森田 美憂琉さん



国籍で人を差別してはいけなとわかりました。

最近の戦争などのニュースに関心を持ちたい。山上 実紅さん

差別とか偏見がなくなっていけばいいなと思います。みんなに平等に接していきたいです。今起こっている戦争についても知ろうと思いました。

山先 りりあさん